

発生直後の混乱知る

あす
神奈川大 防災ゲームの体験会

神奈川

地震直後の混乱の中で、学校で避難者の受け入れ方を決めていく「HUG」(避難所運営ゲーム)

が知られるが、J-DAGは避難所に身を寄せる手前の段階で欠かせない自助や共助を学ぶのが特徴。自治会などを舞台に、初期消火や安否確認にどう手分けして当たるかを話し合う。臨機応変の判断と情報共有が鍵となる。

J-DAGは「Just

Disaster Ac

tion Game」の略

で、カードを使って地震発生から1時間の対処法を考

える。だるまのメンバー、

片山晋さんが東日本大震災後に考案し、体験の場を県内各地に広げている。

災害対応を考えるゲーム

午後1〜4時。会場は1

号館804号室。申し込み

は不要で、50人程度が参加可能。J-DAGの詳細や

資料は、だるまのウェブサ

イトで公開されている。問

い合わせは、だるまの池田

邦昭さん ☎080(5)000

7(0)8885。(渡辺 渉)